（未定稿）

農林水産統計の調べ方、使い方

【はじめに】「統計とは」等 …… 2

日本の統計 …… 3

【農林水産統計の概要】

農林水産統計の役割 …… 4

農林水産統計調査の概要 …… 5

農林水産統計調査を実施する統計組織の概要 …… 6

【調べ方・使い方】

農林水産省（統計部）ホームページ …… 7

2020年農林業センサス ……11

わがマチ・わがムラ（市町村データ） ……16

その他の地域データベース（例） ……20

【付】東村山市の農業史 ……23

220722 地域農業政策塾・榊田ゼミ参考資料　中田哲也（農林水産省統計部（再任用））

メール　職場：tetsuya_nakata580@maff.go.jp、個人：foodmileage@jcom.home.ne.jp

【はじめに】

出典：総務省HP　https://www.stat.go.jp/teacher/statistics.html

統計とは　「集団」の「傾向・性質」を「数量的」に明らかにしたもの。

Cf. データ：単なる数字の集まり。
情報　：判断を下したり行動を起こしたりするために必要な知識。
統計だけでは「情報」としては不十分。

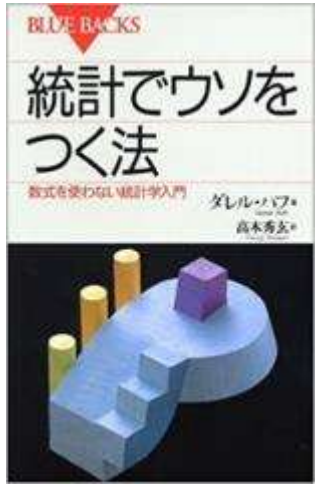
統計の作り方

①統計調査　②官庁の持っている資料を集計　③他の統計やデータを加工

統計の役割

① 自分の国の状態を正しく知る。
② 国や地方の行政の運営を公平・公正に行う基準を与える。
③ 国際社会の中で日本の置かれた状況を正しく理解する。

分野を問わず、
最も強力な議論の
根拠となるのが統計学
（2013）



「統計でだまされない」ためには、
まず「統計でだます方法」を
知ることが必要だ!（1968）

日本の統計

所管業務に関する統計の作成：基幹統計（特に重要な統計）《53》

総務省 統計委員会

統計行政に係る専門的かつ中立な機関

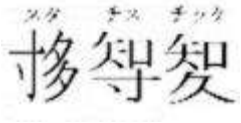
総務省 政策統括官(統計制度担当)

統計に関する政府横断的な調整

総務省 統計研究研修所

総務省 統計博物館

日本近代統計の父
杉 亨二（純道）
(1828-1917)



内閣府	国民経済計算《1》
総務省(統計局)	国勢統計、労働力統計、小売物価統計 等《14》
法務省	
財務省	法人企業統計 民間給与実態統計《2》
文部科学省	学校基本統計 社会教育統計 等《4》
厚生労働省	毎月勤労統計 人口動態統計 等《9》
農林水産省	農林業構造統計 漁業構造統計 等《7》
経済産業省	経済産業省生産動態統計 商業動態統計等《7》
国土交通省	建設工事統計 港湾統計 等《9》
環境省	

統計不正の発覚（2019. 1）

全数調査すべきところをサンプル調査に。
必要な補正も行わず。
雇用保険、労災保険等の支払い不足。

↓

一斉点検、是正措置

統計作成プロセスの適正化(PDCA)
誤り発生への対応ルール
調査実施基盤の整備(体制整備等)

また、統計不正の発覚（2022.1）

調査票の改ざん、二重計上。
（建設工事受注動態統計調査）

農林水産統計の役割

農政を支える「情報インフラ」としての役割

① 国の財政支出の算定根拠
② 需給安定対策等の施策の発動基準
③ 政策目標の設定・評価　などに必要な統計データを整備。

国民のための「公共財」としての役割

農山漁村・地域の実態、農林水産業従事者の構造、農林漁業経営、農林水産物の生産・流通・加工・消費からなるフードシステム全体に関する様々な数値を提供。

基幹統計【７】
農業経営統計、農林業構造統計（農林業センサス）、漁業構造統計（漁業センサス）、作物統計、牛乳乳製品統計、木材統計、海面漁業生産統計

一般統計【33】
林業経営統計、農業物価統計、新規就農者、集落営農、青果物卸売市場、６次産業化　等

農林水産統計調査の概要

農林水産業、関連産業、消費者等を対象に、
農山漁村地域や農林水産物の生産、流通・加工、消費の実態・動向等を把握し、
これを政策部局のほか広く国民が活用

	把握事項	統計調査
生産分野	農林水産物の生産状況の把握 ・耕地面積、作付面積、収穫量、単収 ・家畜の飼養頭羽数 ・木材、製材 ・漁獲量　等	○作物統計調査 ○畜産統計調査 ○木材統計調査 ○海面漁業生産統計調査　等
経営分野	農林漁業経営の把握 ・農業、林業、漁業経営収支 ・農畜産物の生産コスト ・農産物、農業生産資材の価格動向　等	○農業経営統計調査 ○林業経営統計調査 ○漁業経営統計調査 ○農業物価統計調査　等
構造分野	農林水産業従事者の構造及び農山漁村地域の実態の把握 ・農業、林業、漁業就業者 ・新規就農者の実態　等	○新規就農者調査 ○農業構造動態調査 ○漁業構造動態調査　等
流通消費分野	農林水産物の流通・加工及び消費の状況の把握 ・青果物等の市況、卸売数量・価格 ・牛乳、乳製品の生産量 ・農業、漁業生産関連事業の年間総販売金額、従事者数　等	○青果物卸売市場調査 ○牛乳乳製品統計調査 ○６次産業化総合調査　等

農林業センサス・漁業センサス

利活用

政策目標の設定と評価根拠

【食料・農業・農村基本計画】

農地面積見通しの策定に作物統計調査の耕地面積を利用　等

需給安定対策等の施策の発動基準

【野菜・果実の生産出荷安定対策】

需給調整の発動基準の算定に青果物　卸売市場調査の青果物の卸売数量・卸売価格を利用

国の財政支出の算定根拠

【経営対策】

対象品目の交付金の算定に農業経営統計調査の生産費や作物統計調査の単収を利用

【地方交付税】

基準財政需要額の算定に農林業センサスの農家数等を利用　等

農林水産統計調査を実施する統計組織の概要

農林水産省統計部
（統計調査の企画立案を担当）
- 管理課
- 統計品質向上室
- 経営・構造統計課
- ｾﾝｻｽ統計室
- 生産流通消費統計課
- 消費統計室
- 統計企画管理官

内　閣　府
（沖縄振興局）

地方農政局統計部
（統計調査の実査・審査を担当）
- 調整課
- 統計企画課
- 経営・構造統計課
- 生産流通消費統計課

※　職員の一部を都府県域拠点に駐在

北海道農政事務所統計部
（統計調査の実査・審査を担当）
- 調整課
- 統計企画課
- 経営・構造統計課
- 生産流通消費統計課

※　職員の一部を北海道内の地域拠点に駐在

沖縄総合事務局
（統計調査の実査・審査を担当）
- 統計調査課
- 農林水産ｾﾝﾀｰ

【調べ方、使い方】

農林水産省ホームページ　https://www.maff.go.jp/

統計情報

（二十四節気「小暑」の末候）

クリック→統計部のホームページへ

農林水産省統計部ホームページ　https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html

わがマチ・わがムラ（市町村データ）
→ p.16

下にスクロール

農林水産省統計部ホームページ（分野別、品目分類別検索）　https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html

農家数、担い手、農地など

農(林)業センサス

農林業センサス

農(林)業センサス

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noucen/index.html

スクロール

2020年農林業センサス報告書

農(林)業センサス

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020/030628.html

農林水産省

English　キッズサイト　サイトマップ　文字サイズ　標準　大きく

逆引き事典から探す　組織別から探す　キーワードから探す　Google　検索

会見・報道・広報　政策情報　統計情報　申請・お問い合わせ　農林水産省について

ホーム > 統計情報 > 農林業センサス > 2020年農林業センサス > 2020年農林業センサス報告書

2020年農林業センサス報告書

（クリック）

第1巻 都道府県別統計書（全47冊）

本報告書は、都道府県別の農林業経営体調査の集計結果（農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家等）及び農山村地域調査の集計結果の主要な統計表を一覧表形式で市区町村別に収録しています。

第2巻 農林業経営体調査報告書－総括編－

コンテンツ
- トップページ
- 農林業センサスとは？
- 2020年農林業センサス
- 2015年農林業センサス
- 2010年世界農林業センサス
- 2005年農林業センサス
- 2000年世界農林業センサス
- 累年統計

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020/dai1kan.html

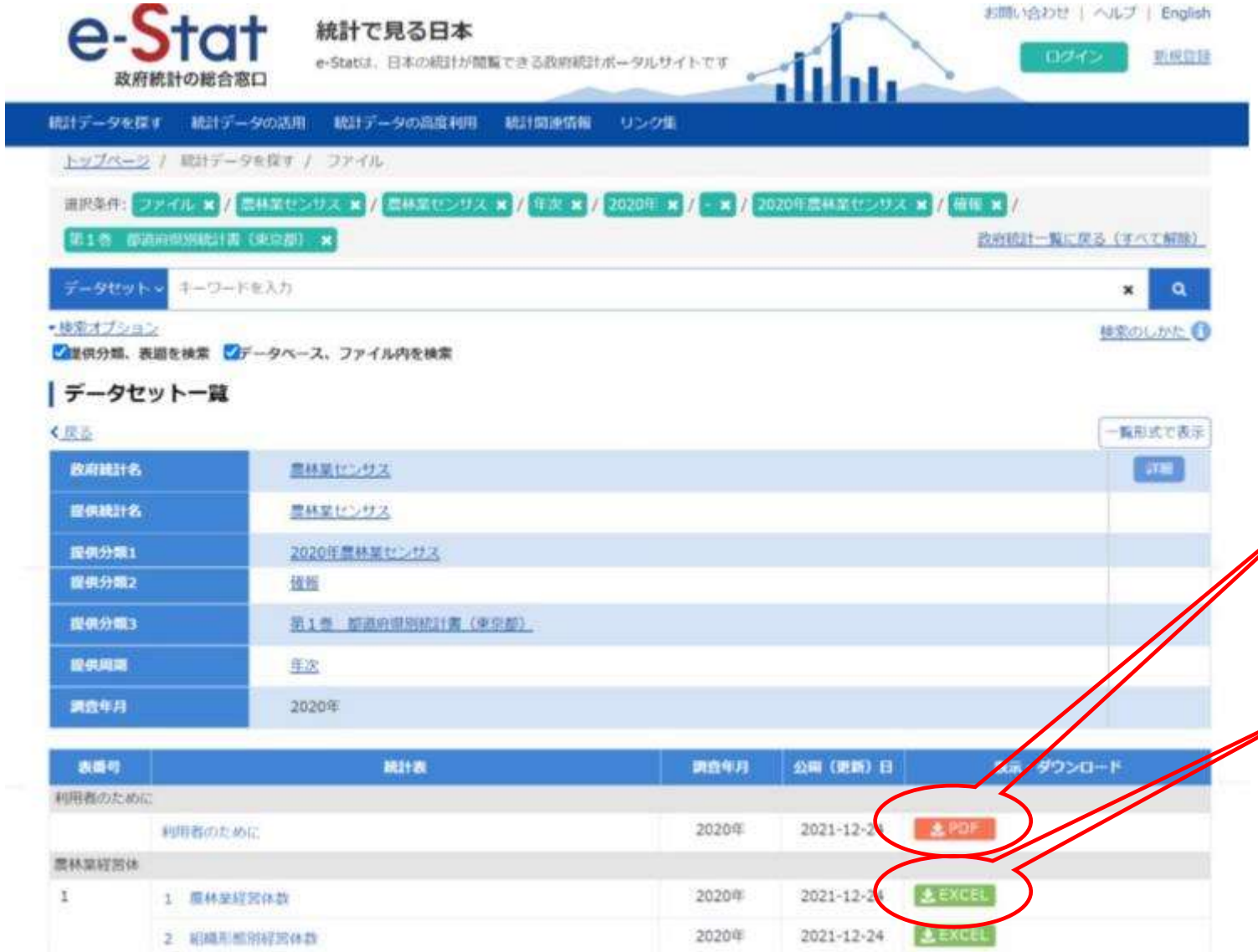
第1巻 都道府県別統計書（全47冊）

[北海道][外部リンク]	[青森県][外部リンク]	[岩手県][外部リンク]	[宮城県][外部リンク]	[秋田県][外部リンク]
[山形県][外部リンク]	[福島県][外部リンク]	[茨城県][外部リンク]	[栃木県][外部リンク]	[群馬県][外部リンク]
[埼玉県][外部リンク]	[千葉県][外部リンク]	[東京都][外部リンク]	[神奈川県][外部リンク]	[新潟県][外部リンク]
[富山県][外部リンク]	[石川県][外部リンク]	[福井県][外部リンク]	[山梨県][外部リンク]	[長野県][外部リンク]
[岐阜県][外部リンク]	[静岡県][外部リンク]	[愛知県][外部リンク]	[三重県][外部リンク]	[滋賀県][外部リンク]
[京都府][外部リン	[大阪府][外部リン	[兵庫県][外部リン	[奈良県][外部リン	[和歌山県][外部リ

東京都（外部リンク）

農(林)業センサス

https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00500209&tstat=000001032920&cycle=7&year=20200&month=0&tclass1=000001147146&tclass2=000001155386&tclass3=000001161206



利用者のために（解説、PDF）

必要なデータをダウンロード（excel）

農林業経営体数（東京都）

j313-02-c1-001 [互換モード] - Excel

I 農林業経営体

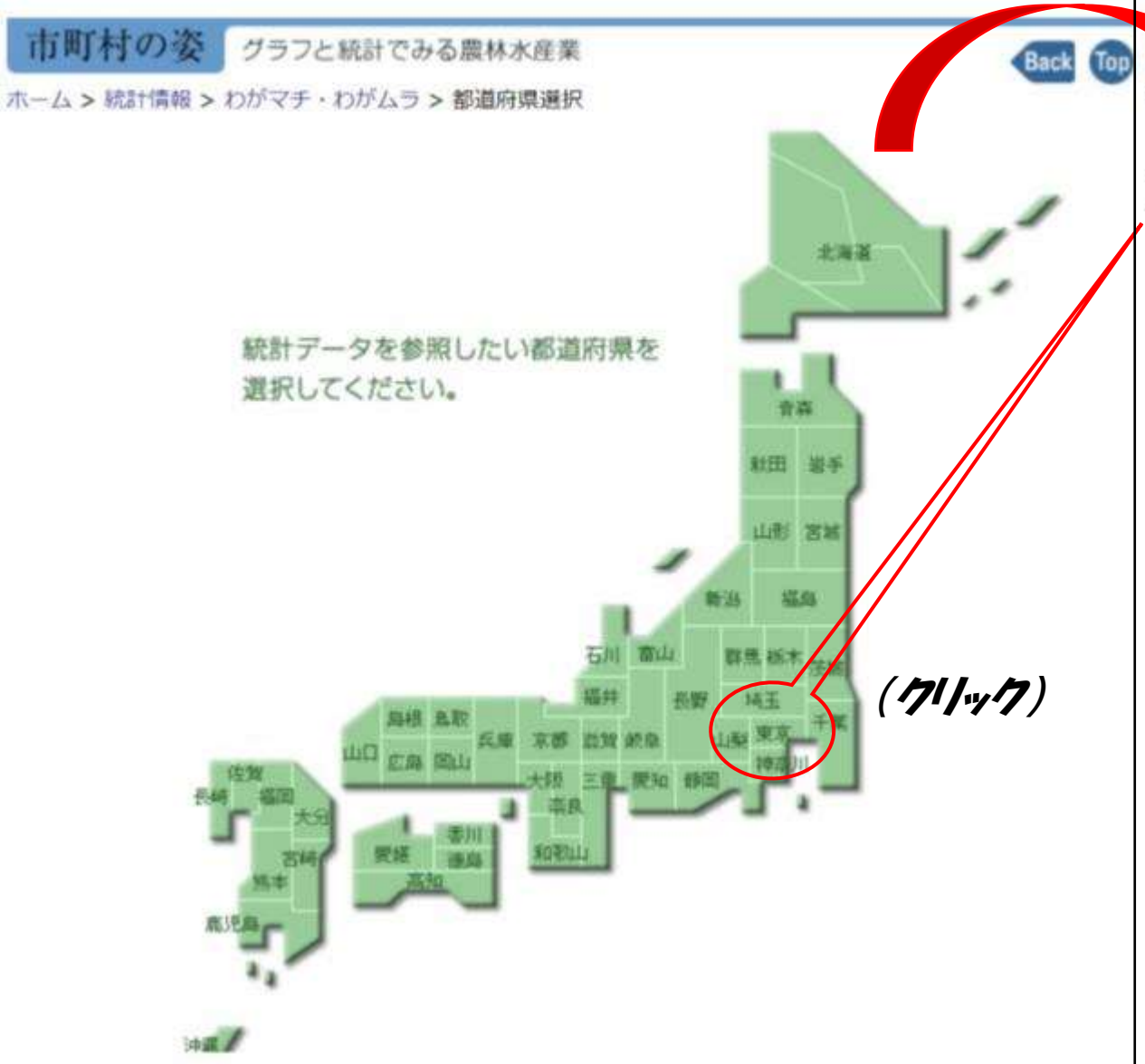
1 農林業経営体数

新旧市区町村 コード 都道府県	振興局	市区町村	旧市区町村	名称 都道府県	振興局	市区町村	旧市区町村	農林業経営体 計	個人経営	団体経営	法人経営	農業経営体 計	個人経営	団体経営	法人経営	林業経営体 計	個人経営	団体経営
13	00	000	00	東京都				5,224	5,104	120	108	5,117	5,041	76	71	152	107	45
13	00	101	00	東京都		千代田区		8	-	8	8	-	-	-	-	8	-	8
13	00	102	00	東京都		中央区		8	-	8	8	5	-	5	5	3	-	3
13	00	103	00	東京都		港区		2	-	2	2	1	-	1	1	1	-	1
13	00	104	00	東京都		新宿区		5	1	4	3	1	1	-	-	4	-	4
13	00	105	00	東京都		文京区		4	3	1	1	-	-	-	-	4	3	1
13	00	106	00	東京都		台東区		2	1	1	1	2	1	1	1	-	-	-
13	00	107	00	東京都		墨田区		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	00	108	00	東京都		江東区		5	-	5	5	2	-	2	2	3	-	3
13	00	109	00	東京都		品川区		4	1	3	3	-	-	-	-	4	1	3
13	00	110	00	東京都		目黒区		7	7	-	-	8	8	-	-	1	1	-
13	00	111	00	東京都		大田区		5	3	2	2	5	3	2	2	-	-	-
13	00	112	00	東京都		世田谷区		197	192	5	5	195	190	5	5	2	2	-
13	00	113	00	東京都		渋谷区		1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	1
13	00	114	00	東京都		中野区		4	3	1	1	4	3	1	1	-	-	-
13	00	115	00	東京都		杉並区		65	64	1	1	60	60	-	-	5	4	1
13	00	116	00	東京都		豊島区		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	00	117	00	東京都		北区		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	00	118	00	東京都		荒川区		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	00	119	00	東京都		板橋区		26	25	1	-	23	23	-	-	3	2	1

市町村別の統計データを見る

農村地域の姿（農業集落ごとのデータ）

わがマチ･わがムラ　http://www.machimura.maff.go.jp/machi/map/map1.html



（クリック）

ひがっしー：東村山市公式キャラクター

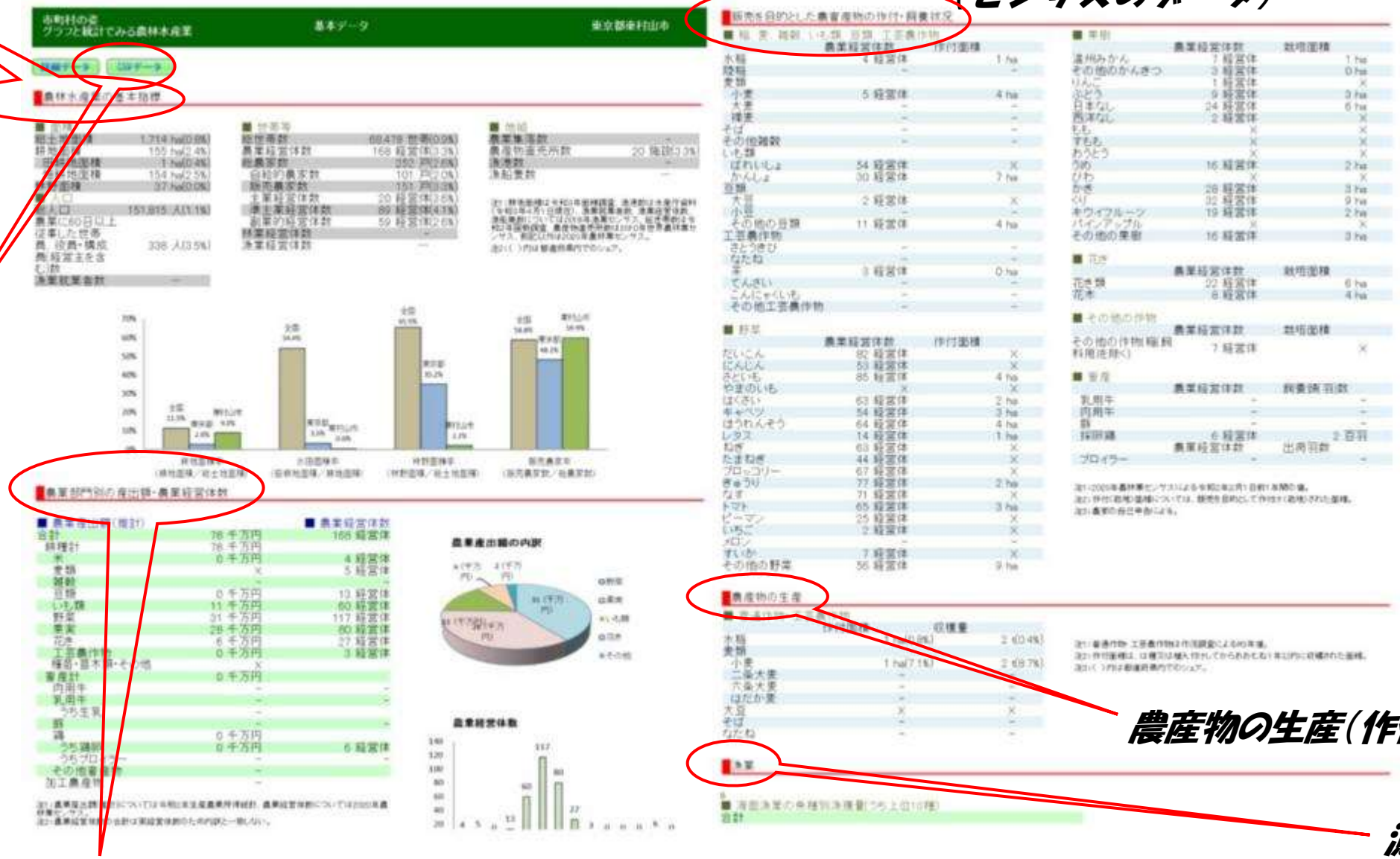
https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/shiseishikou50syunen/index.html

わがマチ･わがムラ　http://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/13/213/index.html

農林水産業の基本指標（面積、人口農家数等）

販売を目的とした農畜産物の作付・飼養状況（センサスのデータ）

CSVデータ

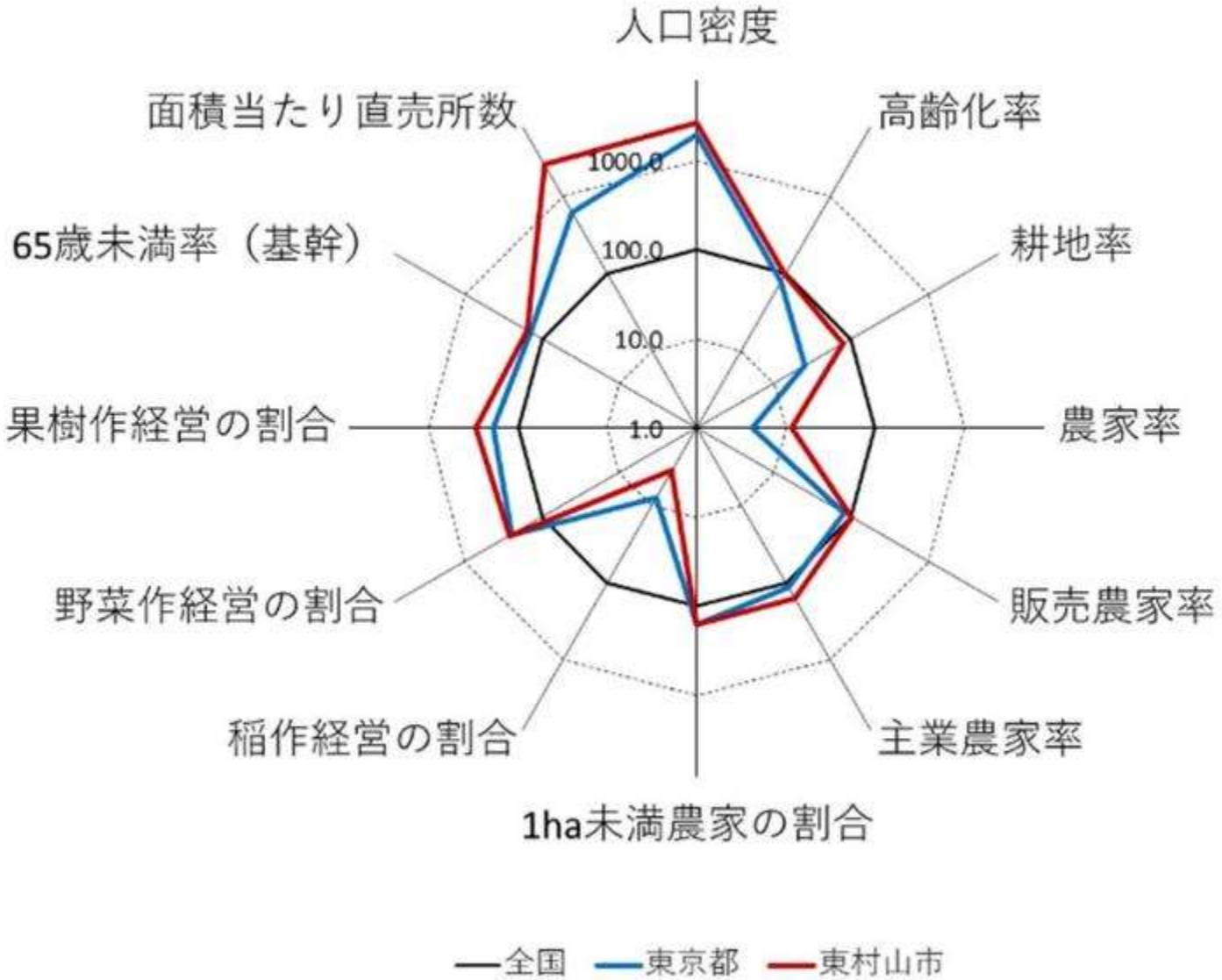


農産物の生産（作付面積、収穫量）

漁業（海面漁業）

農業部門別の産出額・農業経営体数

東村山市農業の特色（全国、東京都平均との比較）
ーわがマチ･わがムラ（ＣＶＳデータ）をダウンロードして加工ー



その他の地域データベース（例）

総務省統計局「統計ダッシュボード」－地域のレーダーチャート・ランキング
https://dashboard.e-stat.go.jp/radarChart?screenCode=00560&regionCode=13000

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）
https://resas.go.jp/#/13/13101

内　部　要　因（あなたの町村自体が持っている強みと弱点はどこですか？）

S（強み）

［一般］
・知名度（だけ）は高い。
・都心まで30km圏内、交通至便（９駅、幹線道路）
・恵まれた住環境
　自然：（八国山緑地（「となりのトトロ」舞台）、雑木林）。
　歴史：下宅部遺跡、正法寺地蔵堂(国宝)、久米川宿（鎌倉街道）、
　　多磨全生園（ハンセン病療養所）

［農、食］
・比較的若い担い手が確保されている。主業農家率が高い。
・果樹、野菜作経営が多い（多摩湖梨等の特産品）。
・近隣に多数の消費者がいる。
　：庭先等の直売所が多数（直売所まっぷ作成）。マルシェの開催。
・学校給食での「地場野菜の日」。
　米は新潟・柏崎市（友好都市）から一括調達。

W（弱み）

［一般］
・名前しか知られていない（どこにあるの？）。
・事業所の半数以上は１～４人と小規模。
・地域経済循環率は多摩地域26市中20位。就労と消費の双方を市外に依存。
・財政基盤が脆弱。

［農、食］
・関東ローム層（武蔵野台地、水不足←新田開発）
・農地面積は市の面積の9%（ほとんどが畑）
・小規模農家が多い（1ha未満の農家が83%）
・10年間で農家数は約26%、基幹的農業従事者は約36%、農地面積は約４割減。

外　部　要　因（政治経済による影響、消費トレンド、道路状況、立地条件etc.　あなたの町村が今置かれているチャンスと脅威は？）

O（機会・チャンス）

・交通はさらに便利に（駅周辺の立体交差事業、都市計画道路事業）。
・持続可能な社会への関心の高まり（SDGs）
・デジタルテクノロジーの進展（AI、IoT）
・新型コロナウィルス感染症の拡大
　→ライフスタイルの変化、地場農産物への関心の高まり。
・都市農業基本法（2015）、生産緑地制度の大幅見直し。
・みどりの食料システム戦略（2022）

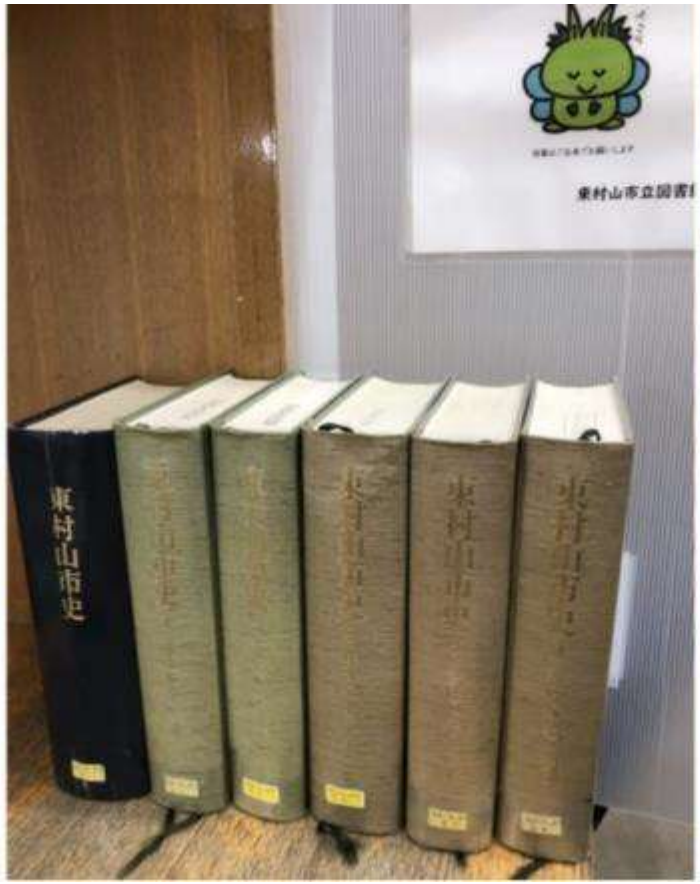
T（脅威）

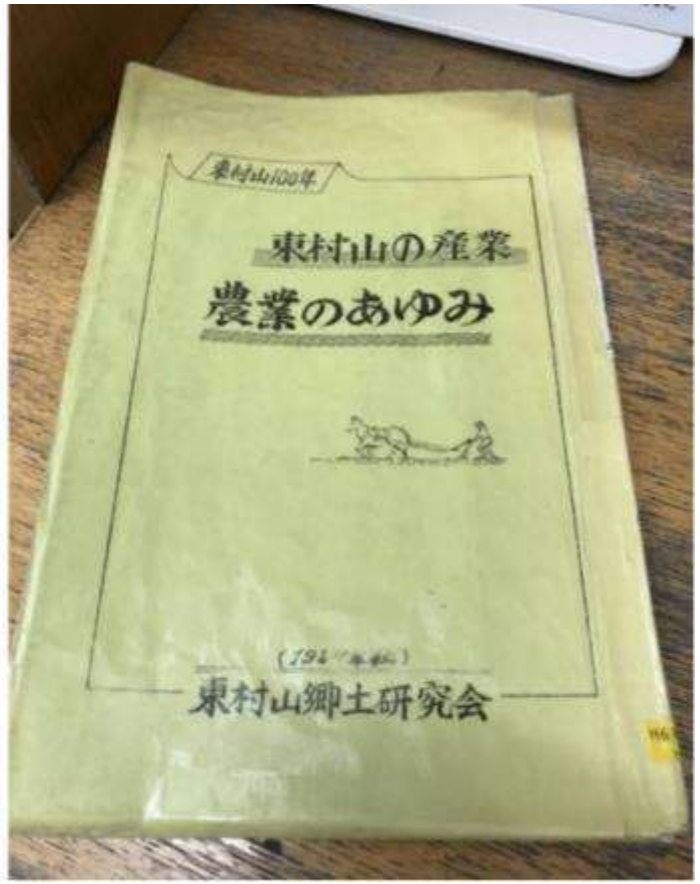
・戦後一貫して増加してきた人口は減少に転じている。高齢単身世帯の増加。（2050年までに人口は約10%減少。老年人口の割合は27%→41%と予測）
・空き家の増加。
・相続に伴う農地、緑地の減少。
・新型コロナウィルス感染症の拡大
　→外出等の自粛、外食など経済活動の縮小。

参考：東村山市第5次総合計画～わたしたちのSDGs～（2021.3）　https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/sogo/sougoukeikaku5/index.html
　　東村山市第３次農業振興計画（2021.3）　https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/smph/kurashi/shigoto/nogyo/shinkokeikaku/nougyoushinkokeikaku.html

（付ろく）なつ休みの自由けんきゅう：東村山市の農業史

まずは、図書館で調べてみた。



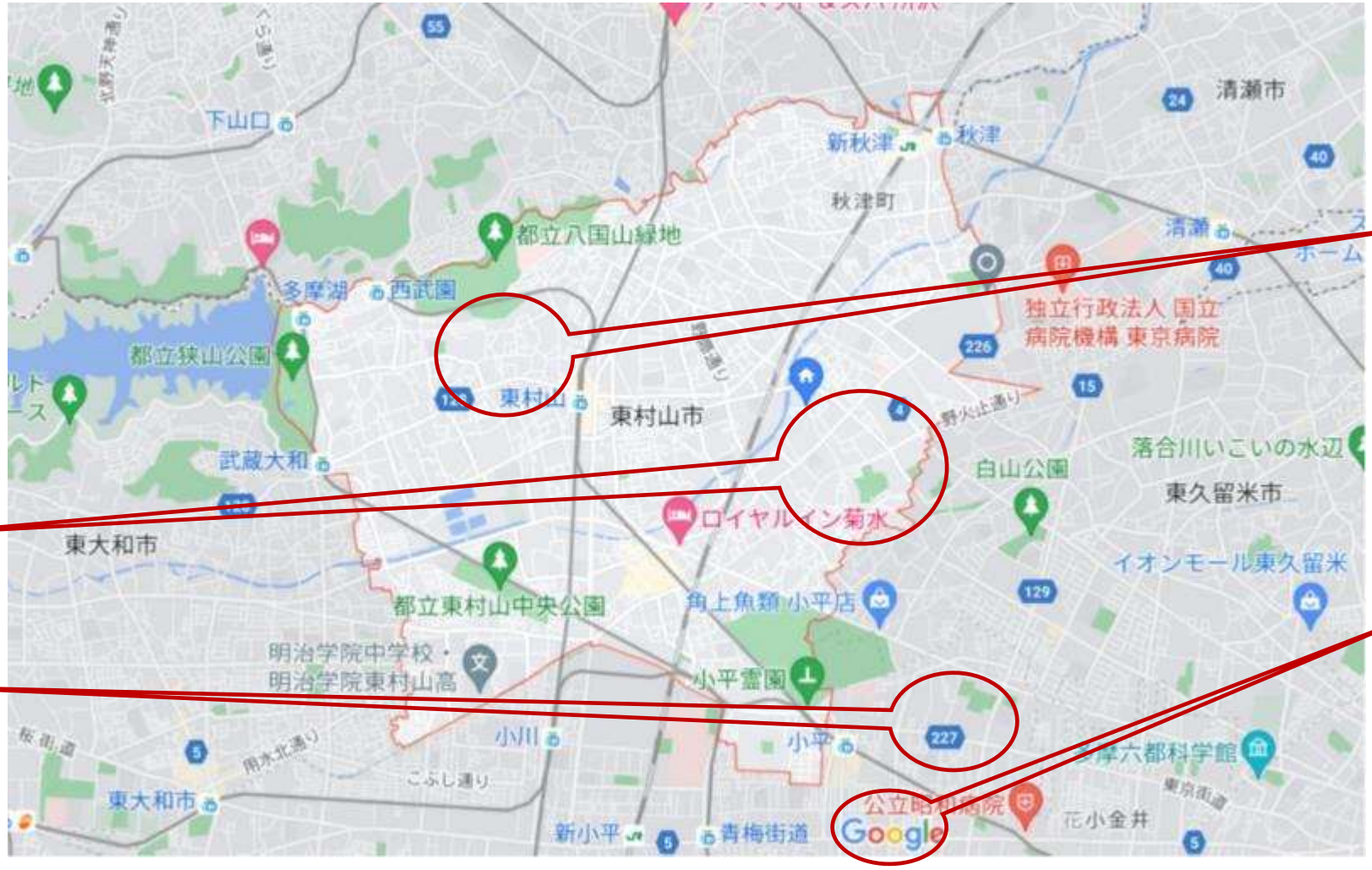


ぼくが住んでいるのは、恩多町。

元は、大岱村、大沼田村などと呼ばれていたらしい。
江戸時代の野火止用水の開鑿、新田開発によって農地に（新「田」といっても畑）。

開発の担い手は、
地元の名主たち。
（後北条氏の旧臣？）

隣村の荒地も開発。



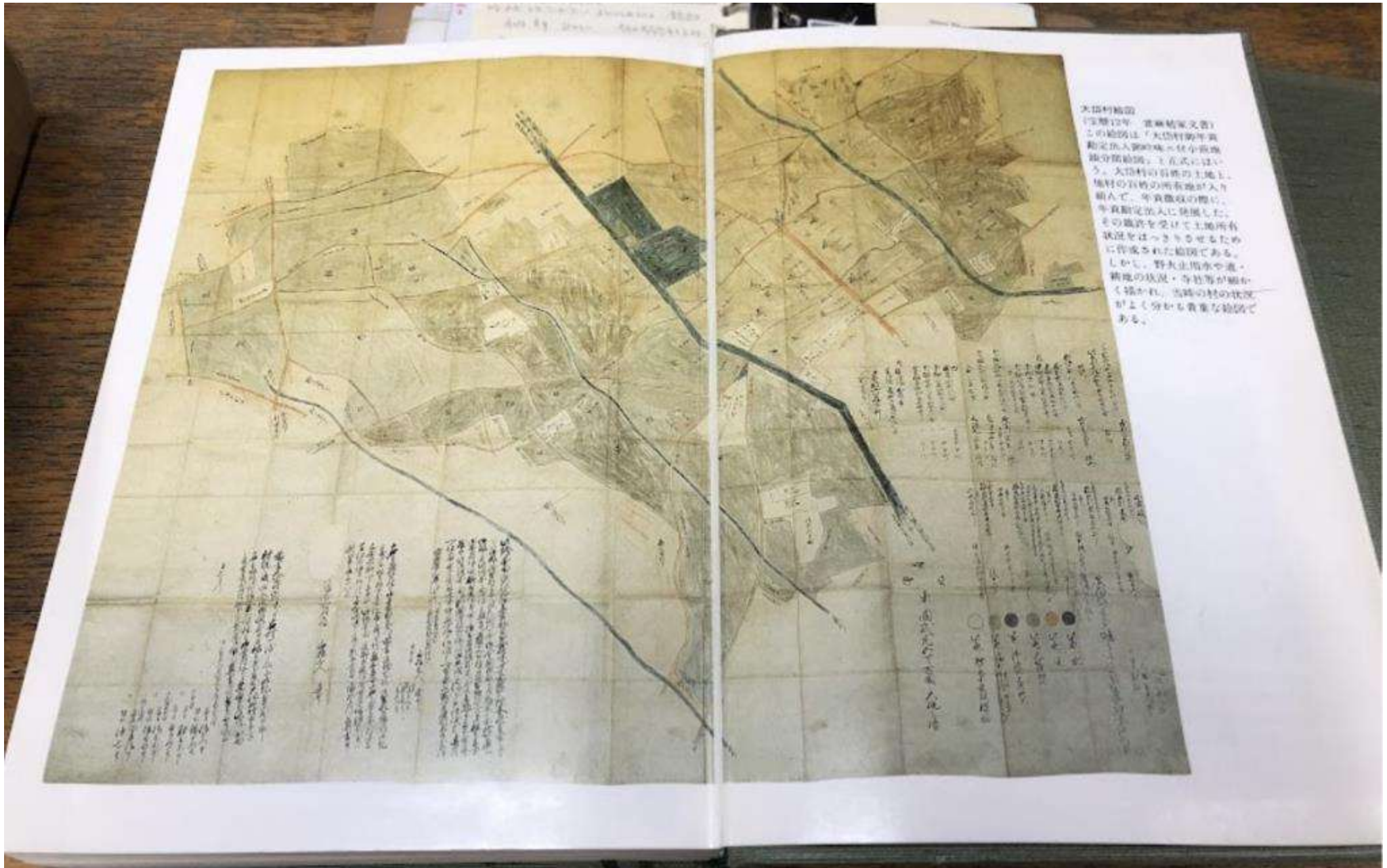
東村山市恩多町
（おんたちょう）

小平市大沼町
［大沼田新田］

東村山市廻田町
（めぐりたちょう）

小平市回田町
［廻り田新田］

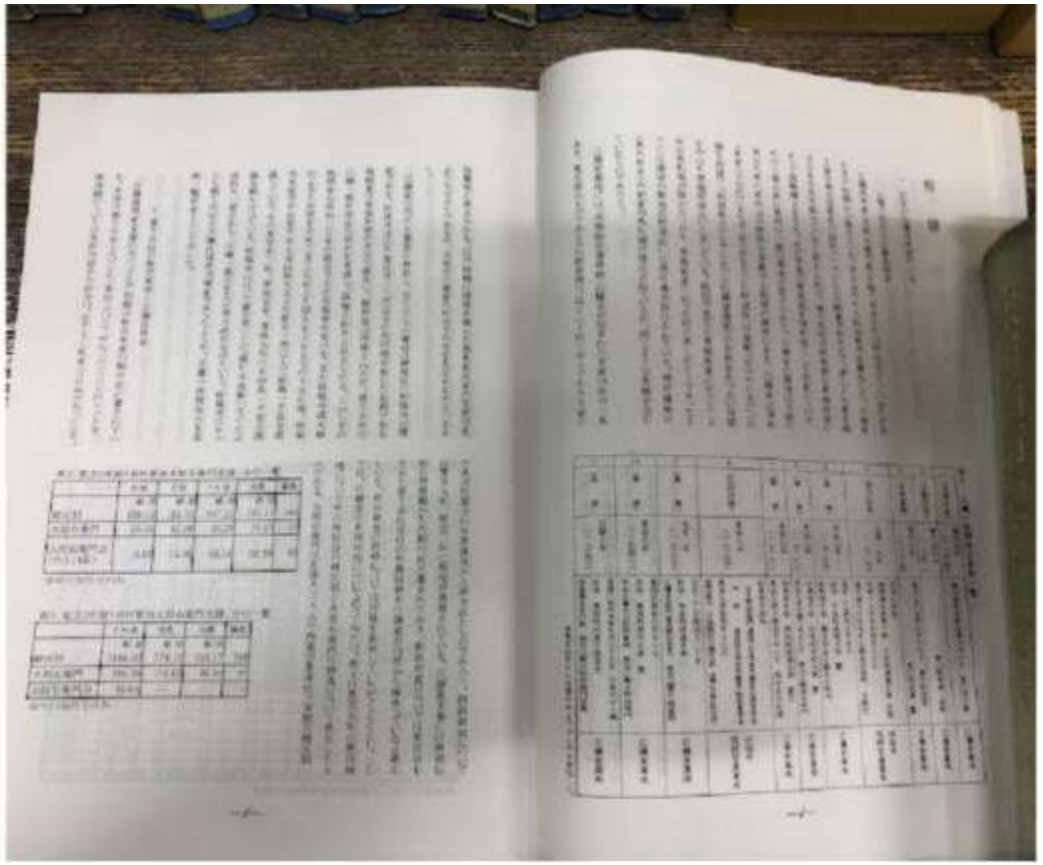
昔の大岱村の絵図


大岱村絵図
（宝暦12年　雲麻呂家文書）
この絵図は「大岱村第年貢勘定出入願の時の村小前惣総分筆絵図」と正式にいう。大岱村の百姓の土地と、他村の百姓の所有地が入り組んで、年貢徴収の際に、年貢勘定出入に発展した。その教訓を受けて土地所有状況をはっきりさせるために作成された絵図である。しかし、野火止用水や道・耕地の状況・寺社等が細かく描かれ、当時の村の状況がよく分かる貴重な絵図である。

田村太郎右衛門さんのこと（江戸初期からの廻り田村の名主）

明暦二年（1656）、新田開発への参加を願い出。
　費用（開拓予定地での家の新築、馬など）は自己負担。不都合があれば追放されても構わない。

青梅街道に沿って屋敷を構え、畑作地の後背地の高台に墓地（二基の宝篋印塔）。



田村家のお墓を探してみました（2022.7/19、小雨）

当たりをつけた高台に向かうと、何と、トトロの森56号地（1,237㎡）に遭遇。
トトロには会えなかったけど、チョウチョやバッタがいました（やぶ蚊もいました）。

そして、田村家墓地に到達。

トトロの森の先を進んでいくと、葛などが茂る山道の向こうに墓石の上部を発見。
偶然、田村家墓地を発見、到達。
二基の宝篋印塔には「南無妙法蓮華経」の文字。寛文年間（1661～73年）、夫妻の供養塔らしい。合掌。

特筆すべき人物

出典：東村山市郷土研究会『東村山の産業 農業のあゆみ』(1987)

市川幸吉さん(1841～1921)

勧業・勧農の父。東村山（以前は下村山）の名付け親。
大岱村で水車製粉工場を営んでいた市川家の次男。山岡鉄舟と交流。
横浜開港と同時に日本産小麦粉を売り込み（わが国最初の輸出）、工場を増設。
染物、織物業（藍、養蚕）。農談会の開催。新作物、新品種の導入（茶、サツマイモ）。

久野重徳さん(1886～1939)

アメリカ・カリフォルニアに農業留学。帰国後、ぶどう園を開きワイン製造に取り組み。

桜井喜三さん(1894～1978)

サツマイモづくり日本一。戦後の食糧難の時代に反収の新記録を実現。多くの青草をうない込み。

小林林平、浩さん 父子

林平氏は元町長/市長。稲城から梨の苗木を取り寄せ、子息・浩氏が引き継いで産地化（多摩湖梨）。

まとめ 必ずしも恵まれてはいなかった東村山の地で、新田開発、特産品開発。６次産業化。
先人の方たちの起業家精神、進取の気性のお陰で今の東村山農業があること。
歴史を大切にしつつ、消費者が身近にいる等のメリットを活かした農業振興の方向を目指すべき。
食料の安定供給（安全保障）も地域から。